

保物セミナー2008

プログラム

[1日目] 平成20年11月27日(木) 13時00分～20時00分

- I. 開会の挨拶** (13時00分～13時10分)
保物セミナー2008 実行委員会委員長 辻本 忠
- II. 特別講演(1)** (13時10分～13時30分)
座長 (財)放射線影響協会常務理事 久芳 道義
(1) 「柔軟な原子力防護体系の発展」
(株)日本ネットワークサポート社長 岸田 哲二
- III. 放射線利用の最前線** (13時30分～16時00分)
座長 日本アイソトープ協会甲賀研究所所長 栗原 紀夫
(1) 放射線照射利用の現状について(50分)
大阪府立大学理学部准教授 古田 雅一
(2) 放射線殺滅菌分野における最新のトピックス
1. 国内初の医薬品電子線滅菌の承認について(50分)
日本電子照射サービス(株)
取締役技術企画部長 山瀬 豊
2. 放射線照射された食品の検知法について(50分)
厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所
食品部室長 宮原 誠
- IV. 特別講演(2)** (16時00分～17時00分)
座長 大阪大学大学院教授 飯田 敏行
(1) 最近の放射線安全規制の動向について
文部科学省原子力安全課 放射線規制室室長 中矢隆夫
- V. ボイリング・ディスカッション** (18時00分～20時00分)
テーマ「 (未定) 」
総合司会 放射線取扱主任者部会 豊田 亘博

[2日目]平成20年11月28日(金) 9時00分～17時00分

VI. 廃棄物処分の検討の現状 (9時00分～12時00分)

- 座長 京都大学原子炉実験所准教授 藤川 陽子
- (1) 放射性廃棄物の安全基準の哲学(30分)
(独)防災科学技術研究所 地震防災フロンティア研究センター
センター長 東原 紘道
- (2) 高レベル放射性廃棄物の地層処分の現状(30分)
東京工業大学客員教授 北山 一美
- (3) 低レベル放射性廃棄物処分の安全規制に係る
近年の検討経緯(20分)
京都大学原子炉実験所准教授 藤川 陽子
- (4) 低レベル放射性廃棄物の処分の現状(40分)
関西電力(株)原子力事業本部原子力環境整備
プロジェクトチームマネジャー 山田 基幸
- (5) ウラン廃棄物の問題点(30分)
藤田保健衛生大学客員教授 下 道国
- (6) RI・医療放射性廃棄物の現状と将来(30分)
(社)日本アイソトープ協会部長 古川 修
- 休憩 (12時00分～13時00分)

VII. 保健物理学会理事会特別セッション(法人制度検討説明会)

(13時00分～13時30分)

- (1) 法人制度の検討状況の説明
日本保健物理学会会長 小田 啓二
- (2) 意見交換

VIII. 新しい国際放射線防護基準への現場の対応に係る論点

保健物理学会企画セッション (13時30分～16時35分)

- 座長 京都医療科学大学教授 大野 和子
- 企画委員長挨拶(5分)
保健物理学会企画委員長 古田 定昭
- (1) 放射線審議会基本部会におけるICRP2007年勧告の
法令取り入れに係る検討状況と論点(30分)
近畿大学原子力研究所准教授 杉浦 紳之
- (2) 国際基本安全基準(BSS)改訂状況と論点(30分)
(独)放射線医学総合研究所グループリーダー 米原 英典
- (3) 原子力発電所における対応(20分)
東北電力(株)火力原子力本部副長 伊藤 重
- 休憩(10分)
- (4) RI施設(大学・研究機関)における対応(20分)
名古屋大学アイソトープ総合センター教授 柴田 理尋
- (5) 医療現場における対応(20分)
近畿大学医学部教授 細野 眞
- 総合討論(50分)
座長 (独)放射線医学総合研究所グループリーダー 米原 英典

IX. 閉会の挨拶 (16時35分～16時40分)

大阪大学名誉教授 山本 幸佳